

令和8年度困難な問題を抱える女性支援事業委託業務 企画提案募集要領

本公募は、令和8年度当初予算成立を前提とした年度開始前の事前準備手続であり、予算成立後に効力が生じる事業です。そのため、県議会において当初予算案が否決された場合は、契約を締結しないことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 委託業務の名称

令和8年度困難な問題を抱える女性支援事業委託業務

2. 委託期間

契約締結の日から令和9年3月31日まで

3. 事業の目的

様々な困難な問題を抱えた女性について、公的機関と民間団体が連携し、SNS相談等のアウトリーチ、居場所の確保や一定期間居住できる場所の提供を行い、地域での自立、定着に向けた支援を実施することで、女性の自立の促進を図る。

4. 委託の上限額

委託料の上限は 36,419,000 円（消費税及び地方消費税含む）とする。
当該金額は、企画提案において提示する金額の上限額であり、契約金額ではない。

5. 委託業務の内容

別添仕様書のとおり

6. 参加資格

次の要件を全て満たす法人又は複数の法人からなるコンソーシアムとする。

- (1) 「地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）」第167条の4第1項の規定に該当する者でないこと。
- (2) 宗教活動や政治活動を主たる目的とする者でないこと。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- (3) 「県が発注する物品の製造、買入れ、売払い等の競争入札に参加する者の資格に関する規程（昭和47年7月20日告示69号）」第7条第2項に基づく指名停止期間中の者でないこと。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- (4) 所得税又は法人税、消費税及び県税を滞納していないこと。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- (5) 「会社更生法（平成14年法律第154号）」に基づき、更生手続き開始の申し立てがなされていない者であること。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
- (6) 自己又は自社の役員等が次の各号のいずれにも該当する者でないこと及び次の各号に掲げる者がその経営に実質的に関与していないこと。コンソーシアムの場合は、構成員の全てがこの要件を満たすこと。
 - ア 暴力団（「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）」第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
 - イ 暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - ウ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者
 - エ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者
 - オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
 - カ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - キ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者
- (7) 沖縄県内に本店又は支店を有する法人であること。コンソーシアムの場合は、構成員のうちいずれか1者以上がこの要件を満たすこと。

- (8) 業務進捗状況や打ち合わせ等を県担当課と円滑に実施できる体制を有すること。
(9) コンソーシアムの場合は、以下の要件をすべて満たすこと。
ア コンソーシアムの構成員が他コンソーシアムの構成員として重複参加していないこと。
イ コンソーシアムの構成員が単体法人として重複参加していないこと。

7. スケジュール及び応募方法等（※すべて予定であり変更する可能性がある）

(1) 主なスケジュール

- 令和8年3月2日（月）： 企画提案公募及び質問受付開始
令和8年3月10日（火）： 質問事項 受付〆切
令和8年3月16日（月）： 企画提案参加届 提出〆切
令和8年3月18日（水）： 企画提案書 提出〆切
令和8年3月19日（木）： 第1次審査（書面）
令和8年3月25日（水）： 第2次審査（プレゼンテーション）
令和8年4月1日以降： 最終審査結果通知、契約締結

(2) 質問事項の受付等

- ア 受付期限： 令和8年3月10日（火） 17:00 必着
イ 提出様式： 「質問書」（様式1）
ウ 提出方法： 電子メールにより提出することとし、件名は「【質問書】困難な問題を抱える女性支援事業」としてください。
（提出先）沖縄県こども未来部女性力・ダイバーシティ推進課
aa001309@pref.okinawa.lg.jp

エ 回答方法： 令和8年3月12日（木）までに沖縄県ホームページに掲載。

(3) 企画提案参加届の提出等

- ア 受付期限： 令和8年3月16日（月） 17:00 必着
イ 提出書類： 以下の書類一式を1部提出すること。
①「企画提案参加届」（様式2）
②「協定書」（様式3）※コンソーシアムの場合のみ。
③「誓約書」（様式4）※全構成員分
ウ 提出方法： 書留郵便又は持参により提出すること。
※ 企画提案参加届の提出がない場合は参加資格を満たさないものとする。

(4) 企画提案書等の提出

- ア 提出期限： 令和8年3月18日（水） 17:00 必着
イ 提出書類： 以下の書類一式を6部（正本1部、副本5部）提出すること。
※ 書類はすべて片面印刷とし、一式をまとめてフラットファイル毎に綴って提出すること。
※ 副本についてはコピー可とする。
①「表紙」（様式5）
②「会社概要」（様式6）※全構成員分
③「業務実績」（様式7）※全構成員分
④「企画提案書」（任意様式）
※「表紙」（様式5）の留意事項に基づき作成すること。
⑤「経費見積書」（様式8）
⑥「経費見積書の明細」（任意様式）
⑦「作業スケジュール」（任意様式）
⑧「執行体制図」（任意様式）
ウ 提出方法： 書留郵便又は持参により提出すること。
※ 企画提案参加届の提出がない場合は参加資格を満たさないものとする。

(5) 第一次審査（書類審査）

令和8年3月19日（木） ※結果通知：令和8年3月23日（月）

女性力・ダイバーシティ推進課において、「企画提案書」を中心に書類審査を行い、上位3者程度を選定する。選定者に対して、第二次審査（プレゼンテーション審査）の日時・場所を通知する。選定されなかった者に対しては結果のみを通知する。

(6) 第二次審査（プレゼンテーション審査）

令和8年3月25日（水）の実施を予定しており、場所や時間等は後日通知する。

※結果通知：令和8年4月1日（水）以降予定

沖縄県に設置する選定委員会において、提案内容等について、審査基準に沿って審査を行い最も優れた提案者を選定する。

(7) 審査基準

ア 事業の趣旨・目的に沿った提案であるか。

イ 提案内容について、実施体制、実施方法、その他必要な項目に係る提案が具体的かつ効果的で実現可能性が高く、優れたものとなっているか。

ウ 当該委託業務を遂行できる能力・体制等を有しているか。

エ 当該委託業務の遂行に資する実績があるか。

オ 予算の範囲内で適切に経費が見積もられているか。

(8) 契約について

ア 県は、審査の結果、最高順位の者を委託候補者として契約締結に向けた協議を行う。ただし、当該協議が合意に至らなかった場合は、次順位以降の者を繰り上げて同様に協議を行うものとする。

イ 事業実施にあたっては、県と企画提案書の内容について協議・調整することとし、提案内容全ての実施を保証するものではない。

8. 対象経費について

(1) 経費の区分

ア 直接人件費

事業に係る人件費については、労働条件、市場実勢等を踏まえ、適切な水準を設定すること。

イ 直接経費

報酬、謝金、旅費、需要費（消耗品費、印刷製本費、光熱水費、食糧費）、役務費（通信運搬費、手数料）、使用料及び賃借料、委託料等とする。

なお、事業実施に当たり使用する可能性のある備品については、借料（リース等）及び消耗品費で対応するものとする。

ウ 再委託費

県との取り決めにおいて、受託者が当該事業の一部を他社に行わせるため必要な経費。

エ 一般管理費

次の計算式により算出すること。

$(\text{直接人件費} + \text{直接経費} - \text{再委託費}) \times 10\%$ 以内

オ 消費税

(2) その他

委託業務の実施期間の終了日までに実績報告書を県に提出し、委託料の確定後に精算払いを行う。

9. その他

- (1) 本業務の手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とする。
- (2) 提出書類の内容に含まれる著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他法令等に基づいて保護される第三者の権利の対象となっている事業手法、維持管理手法等を用いた結果生じた事象に係る責任はすべて応募者が負うものとする。
- (3) 企画提案書等は、応募者1者につき1提案のみ受付けるものとし、提出後の書き換え、差替え及び撤回は認めない。
- (4) 提出期限を過ぎた場合、虚偽の記載があった場合又は予算額を超えた企画提案書等は無効とする。
- (5) 応募資格要件を満たさない者又は委託事業者を選定するまでの間に応募要件を満たさなくなった者が提出した企画提案書等は無効とする。
- (6) 当該提案に関する経費（参加申込書及び企画提案書等の作成や提出、プレゼンテーションへの出席に要する経費等）は応募者の負担とする。
- (7) 提出された書類（企画提案書等）は返却しない。なお、提出された書類は本件企画提案における選定作業以外には使用しない。
- (8) 委託先選定に関する審査内容及び経過等については公表しない。
- (9) 採否に関する異議申し立て等は受け付けない。
- (10) 契約締結の際は、契約保証金として契約額の100分の10以上の額を、契約締結前に納付しなければならない。ただし、沖縄県財務規則第101条第2項の各号（※）のいずれかに該当する場合は、契約保証金の全部又は一部の納付を免除することができる。

※ 契約保証金について（沖縄県財務規則 抜粋）

第101条 地方自治法施行令第167条の16第1項の規定による契約保証金の率は、契約金額の100分の10以上とする。

2 前項の契約保証金は、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、その全部又は一部の納付を免除することができる。

- (1) 契約の相手が保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。
- (2) 契約の相手方から委託を受けた保険会社、銀行、農林中央金庫その他予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号)第100条の3第2号の規定により財務大臣が指定する金融機関と工事履行保証契約を締結したとき。
- (3) 契約の相手方が国(独立行政法人、公社及び公団を含む。)又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を締結した実績を有し、これらのうち過去2箇年の間に履行期限が到来した2以上の契約を全て誠実に履行し、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。
- (4) 法令に基づき延納が認められるときにおいて確実な担保が提供されるとき。
- (5) 物品を売り払う契約を締結する場合において、売払代金が即納されるとき。
- (6) 随意契約を締結する場合において、契約金額が小額であり、かつ、契約の相手方が契約を履行しないこととなるおそれがないとき。

10. 問い合わせ先

〒900-8570 那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県庁3階
沖縄県子ども未来部女性力・ダイバーシティ推進課 支援企画班（担当：國場）
tel：098-866-2500 fax：098-866-2589